

新年度 重点的に取り組む施策・事業

平成 31 年度予算の編成にあたっては、第 2 次総合計画の基本施策の中から重点化施策を設定し、「ひと・かね・知恵（工夫）」を集中投下するとした実施計画と歩調を合わせ編成に取り組めました。そこで、実施計画に掲げる重点化施策と重点事業、そのほか主な取り組みをご紹介します。

😊 …目玉となる事業を解説しています

健康づくりの推進	
ひきこもり支援事業	101 万円
健康増進事業	1,247 万円
健康づくり事業	275 万円
😊自転車活用推進事業	417 万円
 「自転車を活用したまちづくり」の取り組みを進めるため、自転車による健康増進効果の実証実験と、魅力的なサイクリングコースを新たに設定します。	

高齢者福祉の充実	
アクティブシニアがんばろう事業	1,050 万円

出産・子育て支援の充実	
男女共同推進費	96 万円
人権啓発費	255 万円
子ども学習支援事業	104 万円
ファミリーサポート事業	821 万円
子育て応援手当給付事業	3,759 万円

😊公立認定こども園空調機設置事業 7,488 万円

😊穂高幼稚園空調機設置事業 726 万円

	園児の健康と安全のため、公立認定こども園および穂高幼稚園の遊戯室に空調機を整備します。
---	---

公立認定こども園管理費 13 億 7,621 万円

😊産前産後支援事業 1,350 万円

出産直後の皆さんを対象とした相談・健診の場を新たに設けることで、産後うつなどへの対策を強化します。また、出産後の母乳相談や宿泊型支援などの産後ケアについて利用期間を拡大します。



農業の振興	
後継者育成事業	4,918 万円
環境保全型農業推進支援事業	104 万円
農業施設維持工事（市単独工事）	5,517 万円

観光の振興	
😊観光イベント事業	4,180 万円
 信州安曇野ハーフマラソンや安曇野花火のほか、新たな観光素材として取り組む「田んぼアート」などを支援します。	

安曇野ブランド発信の強化	
地域史研究と文化財保存・活用	368 万円
企業サポート事業（食品流通系）	535 万円
安曇野ブランド創出事業	241 万円
天蚕振興事業	205 万円
地域・行政情報化推進事業	538 万円
インターネット広報事業	683 万円
広報ラジオ番組放送事業	910 万円

水環境の保全・強化・活用	
水資源対策事業	749 万円

防災体制の充実	
防災組織支援事業	582 万円
防災情報システム事業	377 万円
内水対策事業	1,182 万円

景観の保全と育成の推進

😊都市再生整備計画（明科駅周辺）3 億 8,808 万円



明科駅周辺地区整備により、「安曇野市の東の玄関口」として、活力あるまちづくりを推進します。

環境基本計画推進事業 590 万円

良質な住環境の整備	
住宅・建築物耐震改修促進事業	2,823 万円
公営住宅等長寿命化事業	2,253 万円
空家対策事業	127 万円
移住定住促進事業	425 万円

移住・定住の促進

移住定住促進事業※ 425 万円

😊しごと創出事業 3,879 万円

フルタイムでの就労が困難な皆さんに ICT（情報通信技術）を活用して就労の機会を提供するテレワークセンターを新たに設置します。



学校教育の充実

😊コミュニティスクール事業 1,527 万円



学校応援隊の活動推進に加えて中学校の部活動に指導員を配置し、学校を支援します。

中学校情報教育推進事業	4,001 万円
中学校冷房設備等整備事業	1,210 万円

生涯学習の推進

中央公民館事業	5,384 万円
豊科公民館事業	536 万円
美術館・博物館連携事業	127 万円
芸術教育普及事業	393 万円

😊図書館サービス事業 525 万円

講座等の講師謝礼や図書館キャラクターグッズの制作のほか、ファーストブック（4 か月児対象）のフォローアップ事業として、2 歳児健診日に絵本 1 冊を配布するセカンドブック事業を新たに実施します。



安曇野市図書館キャラクター ぽぽん

環境基本計画推進事業※ 590 万円

スポーツ活動の充実

😊新総合体育館建設事業 7 億 2,356 万円

市民の健康増進からプロスポーツの観戦までできる新総合体育館を豊科南部総合公園南に建設します。災害時の避難所および救援物資集積所の機能も有し、災害時の地域防災拠点としての機能も確保します。



ホストタウン推進事業	695 万円
スポーツ教室等開催事業	1,082 万円

交流活動の推進

😊ホストタウン推進事業※ 695 万円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックのオーストリア共和国カヌーチームのホストタウンとして、1 年前イベントの開催やタイアップイベントへの広告費補助制度により、東京 2020 に向けた機運の醸成・外国文化の理解を深める機会を設けます。



人権啓発費※	255 万円
理解促進研修・啓発事業	6 万円

その他

😊新ごみ処理施設建設事業 14 億 1,334 万円

老朽化した穂高広域施設組合のごみ処理施設を新たに建設するため、負担金を支出します。



😊全国都市緑化フェア 8,636 万円

4 月から 6 月に開催される同フェアへ負担金を支出するほか、市内サテライト会場等の企画・運営を行うとともに、市民の緑化に対する機運の醸成を図ります。



😊防犯対策機器購入補助 50 万円

被害の絶えない特殊詐欺等を防止するため、対策機器の購入設置を補助することにより被害を防止します。



※の付いた重点事業は、複数の重点化施策に含まれます。